

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和5年6月5日(2023.6.5)

【公開番号】特開2022-186863(P2022-186863A)
 【公開日】令和4年12月15日(2022.12.15)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-231
 【出願番号】特願2022-170265(P2022-170265)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
 【提出日】令和5年5月26日(2023.5.26)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

所定軸を中心に回転可能に構成される回転手段と、その回転手段を回転させる駆動力を発生する駆動手段とを備える遊技機において、前記回転手段の位置を検出可能に構成される検出手段を備え、前記検出手段は、第1方向視で前記回転手段の内方に配置されるよう構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0002
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0002】

30

複数の回転手段と、それら複数の回転手段を回転させる駆動力を発生する駆動手段とを備える遊技機がある(特許文献1)。

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0003
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0003】

40

【特許文献1】特開2007-130261号公報
 【手続補正4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、装置が第1方向視で大型化するという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、装置

50

の小型化を図ることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定軸を中心に回転可能に構成される回転手段と、その回転手段を回転させる駆動力を発生する駆動手段とを備える遊技機において、前記回転手段の位置を検出可能に構成される検出手段を備え、前記検出手段は、第1方向視で前記回転手段の内方に配置されるよう構成される。

10

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、装置の小型化を図ることができる。

20

30

40

50